



Bluetooth® ワイヤレスバーコードリーダー  
MBC-6890 シリーズ

日本語訳 設定マニュアル

第 1 版

Rev1.3



対象機種

型式	インターフェース
MBC-6890-LR-C2-USB	USB キーボードインターフェース
MBC-6890-LR-C2-KB	PS/2 キーボードインターフェース

【発行/お問い合わせ先】

株式会社アチーブ

〒230-0051

神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央

4-30-14-2F

TEL:045-508-1877

URL:<http://www.achi-eve.co.jp/>

Rev1.3 July 2009

## はじめに 本書について

本書は「ワイヤレスバーコードリーダー MBC-6890 シリーズ」に付属する英文取扱説明書 (User's Guide) から、主に使用する機能変更の設定用バーコードメニューを抜粋し、日本語に翻訳・編集したものです。

本製品の Bluetooth (無線通信) はいくつかの通信方法をサポートしていますが、本書ではもっとも簡単な「ペアモード」での取り扱い方法について記載しております。

## あらかじめご承知いただきたい事項

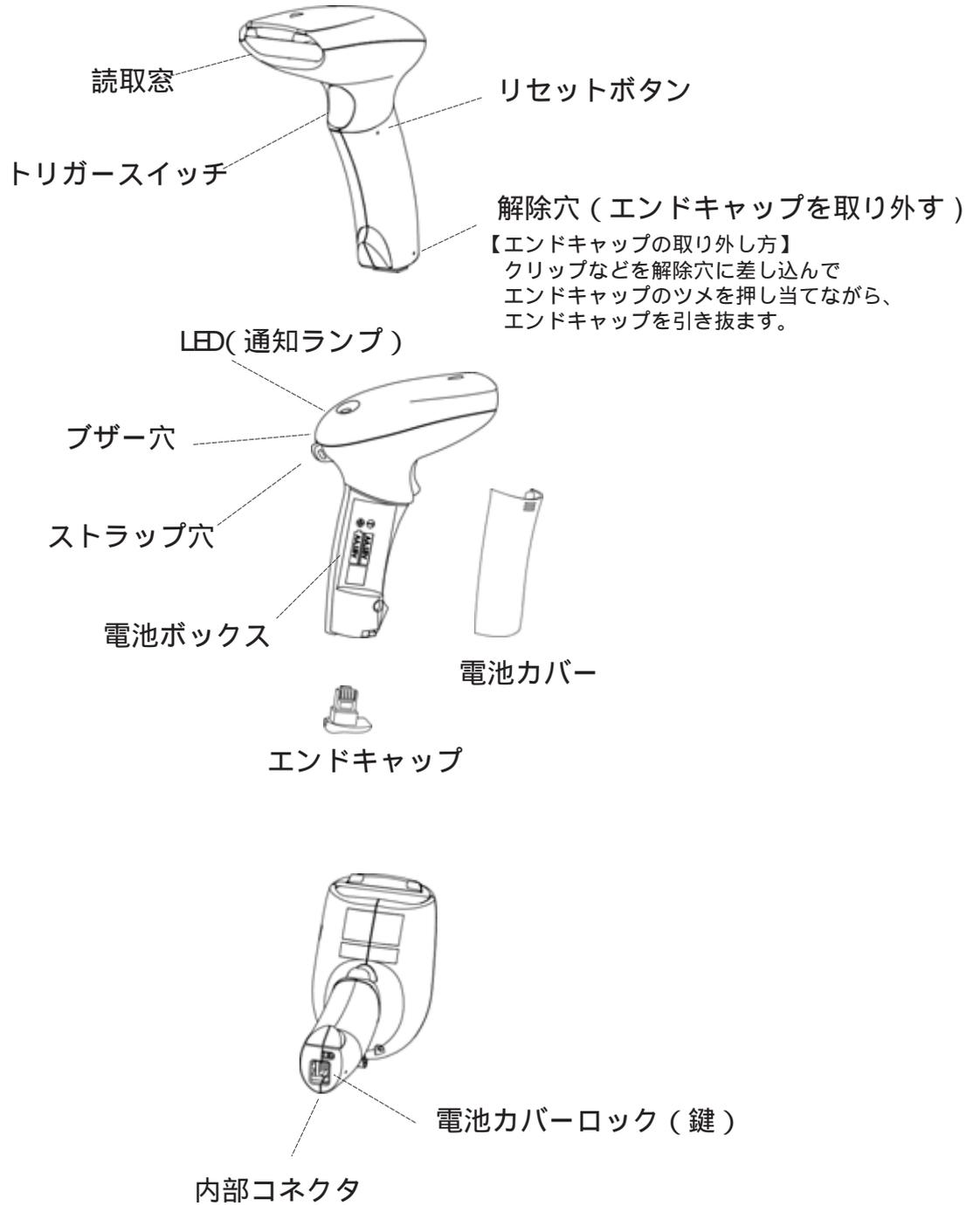
本書の製本版は配布しておりません。設定用バーコードの読み取る場合は、本書をプリンターで印刷してバーコードリーダーで読み取ってご使用下さい。

## 改訂履歴

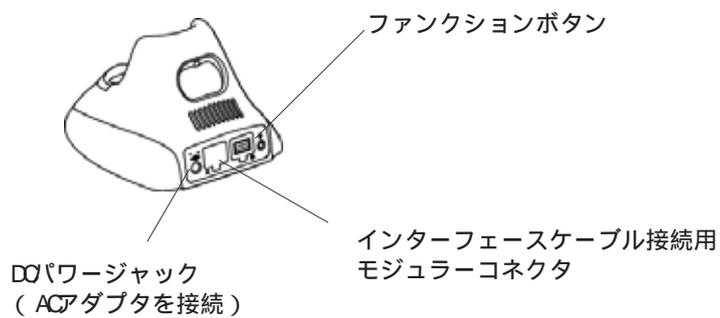
第 1 版	日本語訳 設定マニュアル 作成
第 1 版 Rev1.1	お問い合わせ先を改訂。本社移転のため。
第 1 版 Rev1.2	一部訂正。
第 1 版 Rev1.3	一部訂正。

## 各部の名称

### ○ MBC-6890-LR-C2 ワイヤレスバーコードリーダー



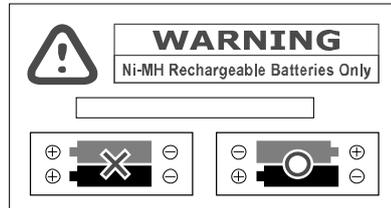
○ DB100 スマートクレードル



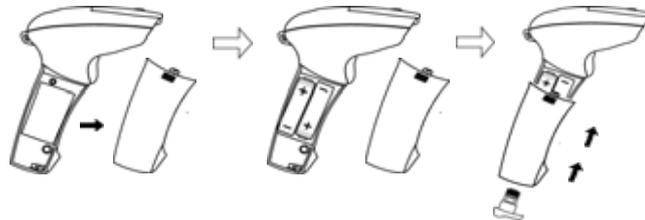
## 使用前の準備

- (1) 無線通信 (Bluetooth) が動作する準備をしてください。
- (2) バーコードリーダーの電池カバーを開き、バーコードリーダーの電池ボックスに充電電池をセットしてください。  
電池の極性 (+ と - ) を確認し、正しい方向でセットしてください。

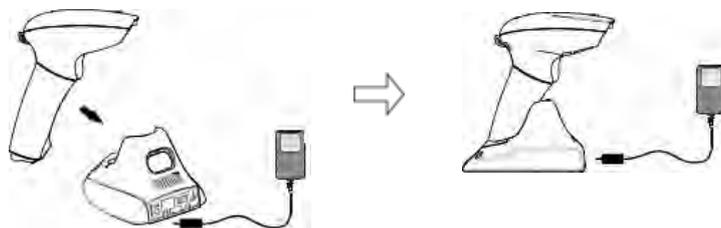
(非充電の電池は使用しないでください。発熱・火災の原因となります)



- (3) バーコードリーダーの電池カバーを閉めて、エンドキャップをセットしてください。



- (4) ACアダプターをコンセントに接続してください。次に、ACアダプターのDCジャックをDB100スマートクレードルに接続してください。
- (5) 電池を充電するために、バーコードリーダーをDB100スマートクレードルに設置してください。正しく設置されると短いブザーが回鳴ります。ブザーが鳴ることを確認してください。  
初めて使用するとき、完全に充電するには4~5時間かかります。



- (6) バーコードリーダーを使い始める前に、電池が完全に充電されていることを確認してください。  
また、初めて使用する場合はスキャナのリセットボタンを押してイニシャライズ (初期化) してください。

## MBC-6890とスマートクレードルDB100を使用する

MBC-6890とスマートクレードルDB100は既存のケーブル接続のインターフェース（PS/2 USBなど）のように動作します。

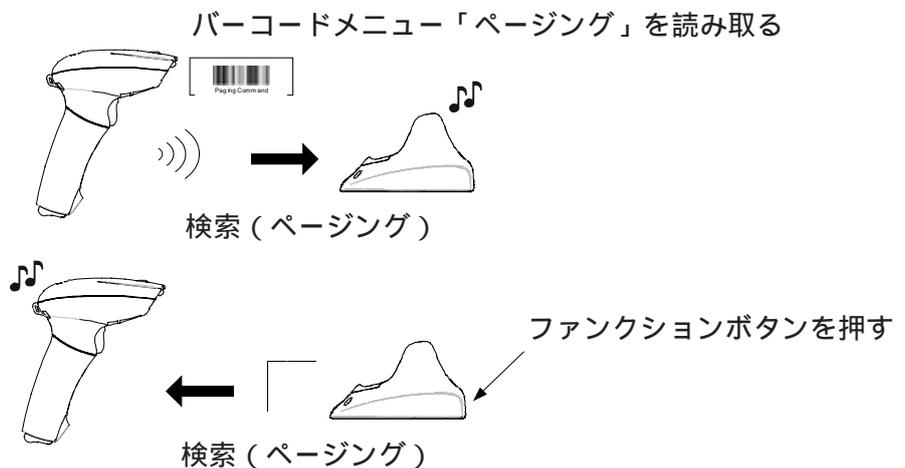
MBC-6890のBluetooth設定のひとつである「ペアモード」は、最も簡単な設定で、Bluetoothが無い環境でもケーブル接続されたバーコードリーダーから無線バーコードリーダーへの置き換えを容易に実現します。

MBC-6890とDB100は労力なしで簡単にバーコードリーダーのワイヤレス化を実現できます。

その上、MBC-6890とDB100をペアモードで使用すると「無線の自動接続」という特別な機能が提供されます。バーコードリーダーとクレードルの無線通信が通信圏外になるなどして通信が切断された後、通信圏内に近づくと自動的に無線通信が確立します。再度、手動で無線通信を確立させる必要はありません。



もし複数のMBC-6890が同一圏内に設置されていた場合、バーコードリーダーとクレードルの組み合わせを見分けることができないかもしれません。その場合、クレードルのファンクションボタンを押すとペアリングされた（組み合わせられた）バーコードリーダーのブザーが鳴り、バーコードリーダーを見つけることができます。

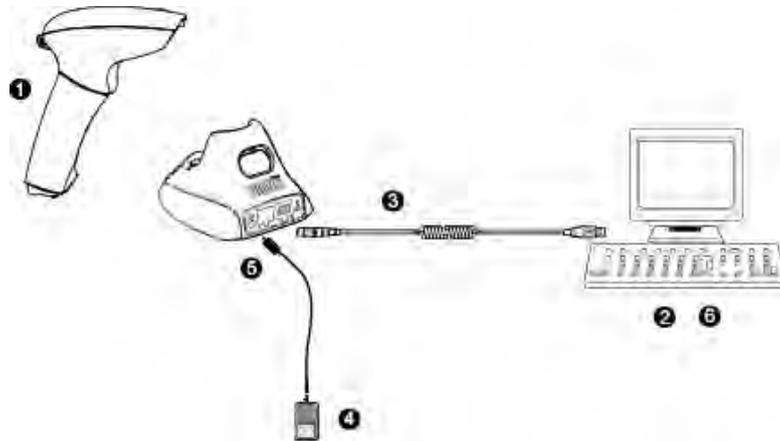


ペアモードの動作に必要な機器（ご購入時に全て付属しています）

- MBC-6890-LR-C2 バーコードバーコードリーダー x 1
- DB100 スマートクレードル x 1
- ACアダプター x 1
- インターフェースケーブル x 1（購入時に型番でご指定になったケーブル）
- MBC-6890-LR-C2-USB: USBキーボードインターフェースケーブル
- MBC-6890-LR-C2-KB: PS/2キーボードインターフェースケーブル

## セットアップの手順

MBC-6890をDB100スマートクレードル経由でホスト端末（パソコンなど）に接続するには次の手順を参照してください。



- (1) MBC-6890dに電池がセットされ、完全に充電されていることを確認してください。  
電池については「使用前の準備」を参照してください。
- (2) ホスト端末（パソコンなど）の電源を切ってください
- (3) インターフェースケーブルをDB100スマートクレードルとホスト端末に接続してください。  
クレードルには「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。
- (4) ACアダプターをコンセントに接続してください。
- (5) ACアダプターのDCジャックをクレードルに接続してください。  
バーコードリーダーとクレードル間の無線通信状態をクレードルのランプが表示します。  
詳しくは「DB100スマートクレードルの通知」を参照してください。
- (6) ホスト端末（パソコン）の電源を入れてください。
- (7) MBC-6890の表示LEDが「赤 緑」を交互に点灯していることを確認してください。その表示は「アンインストール（無線が確立されていない）」ことを表示しています。すでに「アンインストール」の状態の場合、次の手順は飛ばしてください。
- (8) 「アンインストール」のバーコードメニューをバーコードリーダーで読み取ってください。バーコードリーダーは4回ブザーを鳴らした後、表示LEDが「赤 緑」を交互に点灯させます。



バーコードリーダーは「アンインストール」状態のときに何も操作しないと、30秒後に自動的に「スリープ状態」となります。バーコードリーダーのトリガースイッチを押して「スリープ状態」から復帰してください。

- (9) 「ペアモード」のバーコードメニューを読み取ってください。  
バーコードリーダーは2回の短いブザーを鳴らし、  
表示LEDは「赤」を点滅させます。



「ペアモード」を読み取った後に1秒以内にクレードルにバーコードリーダーを設置しないと、バーコードリーダーはスリープ状態になります。トリガースイッチを押すと復帰します。「アンインストール状態」に戻す場合は、バーコードリーダーのトリガースイッチを押し続けた状態で2秒以内にクレードルにバーコードリーダーを設置してください。

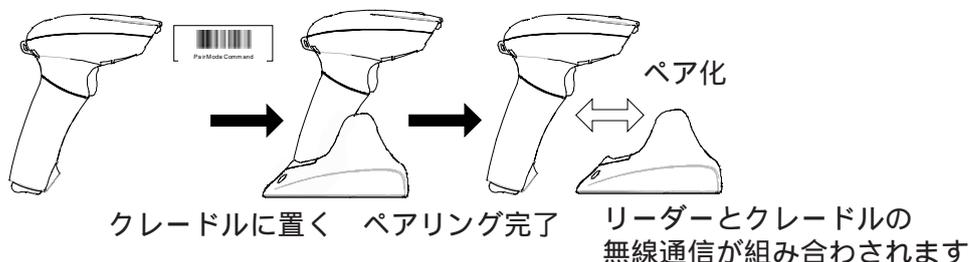
- (10) バーコードリーダーを10秒以内にクレードルに設置してください。  
ペアリングの設定が次のように自動的に実行されます。

ペアリング中にバーコードリーダーは短いブザー音と表示LED「赤」の点滅を繰り返します。

ブザー (4回の上昇音) が鳴ります。ペアリングが完了します。

バーコードリーダーは一定の間隔で表示LED「緑」を点滅させます。

「ペアモード」を読み取る



- (11) バーコードリーダーをクレードルから取り外してください。  
次項のインターフェースケーブルに適切なバーコードメニュー  
(クイックセットコマンド)を読み取ります。  
ホストインターフェースの設定が変更された場合は、設定完了の  
ブザーが鳴ります。次にバーコードリーダーは無線通信が確立したことを  
通知する4回の上昇ブザーを鳴らします。  
バーコードリーダーは無線通信中を表示する表示LED「緑」が点滅します。

## ホストインターフェース クイックセットコマンド

ケーブルに適合したメニューを1つ読み取ってください。



MBC-6890-LR-C2-KB用  
デスクトップPC用

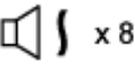


MBC-6890-LR-C2-KB用  
ノートPC用  
(ケーブルのメスが未使用時)



MBC-6890-LR-C2-USB用

適切にセットアップが完了した後は、LED(表示ランプ)とブザーでバーコードリーダーの状態を通知します。

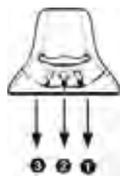
状態と対策	通知方法	
	LED	ブザー
1.無線未確立 (アンインストール) → 無線通信が確立されていません (ペアリングが完了していません) → 無線通信を確立してください (ペアリングしてください)	 赤と緑 交互に点滅	
2.無線通信中 → スキャナはすでにクレードル (Bluetoothデバイス)と 無線通信が接続されています → 読み取りの準備が完了しました	 緑 一定間隔の点滅	
3.無線通信切断 → 無線通信は一度確立しました 接続先のクレードル (Bluetooth デバイス)が見つかりません → 通信圏内に移動してください	 赤 一定間隔の点滅	
4.スリープ(休止) → スキャナがスリープ状態です → トリガースイッチを押して ください		
5.設定モード → スキャナは設定モードです (設定開始をスキャンした) → 設定を完了してください	 赤 常時点灯	
6.低電圧 → 電池の残量が少ないです → 充電してください	 赤 一定間隔の点滅	 1回 一定の間隔
7.極端な低電圧 → 電池の残量が極端に少ないです → 充電してください	 赤 8回点滅	 8回
8.電池切れ → 電池の残量がありません → 充電してください		

No	通知方法		意味
	LED	ブザー	
1	● Off	🔊 Off	スリープ状態 または電池切れ または電池が入って いない
2	○ R 赤 常時点灯	🔊 Off	設定モード中
3	☀ R/G... 赤 / 緑 交互に点滅	🔊 Off	無線通信が確立されて いない ペアリングが完了して いない (アンインストール)
4	☀ G... 緑 一定間隔の点滅	🔊 Off	無線通信中 (読取の準備ができて います)
5	☀ R... 赤 一定間隔の点滅	🔊 Off	無線通信切断
6	☀ R... 赤 一定間隔の点滅	🔊 ) 1回 一定間隔	低電圧 (電池消耗)
7	☀ R x 8 赤 8回点滅	🔊 ) x 8 8回	極端な低電圧 (電池消耗)
8	☀ R 赤 1回点滅	🔊 ) 1回	タイムアウト
9	☀ R x 2 赤 2回点滅	🔊 )) 2回	クレードルまたは PCから NAKを受信

No	通知方法		意味
	LED	ブザー	
10	 R x 3 赤 3回の点滅	 3回	設定失敗
11	 G 緑 1回の点滅	 1回	バーコード読取成功
12	 G 緑 1回の点滅	 AC受信ブザー	ACをクレードルまたは PCから受信
13	 G 1回の点滅	 起動 / 再起動音	スキャナの起動
14	 G 緑 1回の点滅	 4回の上昇音	無線接続の確立
15	 R 赤 1回の点滅	 4回の下降音	無線接続の切断
16	 R x 10 赤 10回の点滅	 検索ブザー	クレードルが スキャナを検索 (ページング)
17	 R x 10 赤 10回の点滅	 検索ブザー	スキャナが クレードルを検索 (ページング)
18	 G 緑 1回の点滅	 設定完了ブザー	設定完了

## DB100 スマートクレードルの通知

(ユーザーズガイド P28)



- ① 右側の LED : 充電状態
- ③ 左側の LED : 予備 (未使用)
- ② 中央の LED : DB100 無線通信の状態を通知

### ■ 中央の LED とブザー

No	通知方法		意味
	LED	ブザー	
1	○ R 赤 常時点灯	🔊 Off	スリープ状態 または低電圧 または電池が入ってない
2	○ G 緑 常時点灯	🔊 Off	設定モード中
3	○ G 緑 常時点灯	🔊 Off	設定完了
4	☀️ R/G... 赤 / 緑 交互に点滅	🔊 Off	無線通信が未確立 ペアリングが完了して いない (アンインストール)
5	○ G 緑 常時点灯	🔊 Off	無線通信中
6	○ R... 赤 常時点灯	🔊 Off	無線通信が確立 していない
7	○ G 緑 常時点灯	🔊 🎵 4回の上昇音	無線通信が確立した
8	○ R 赤 常時点灯	🔊 🎵 4回の下降音	無線通信が切断された

## 動作を確認する

---

スキャナをコンピュータに接続した後は、下記の手順でスキャナの動作を確認します。

- ( 1 ) Windows の画面上にあるタスクバーから[スタート]-[(すべての)プログラム]  
[アクセサリ]-[メモ帳]を開きます
- ( 2 ) スキャナでバーコードを読み取ります。[メモ帳]にバーコードデータが出力・表示  
されます。

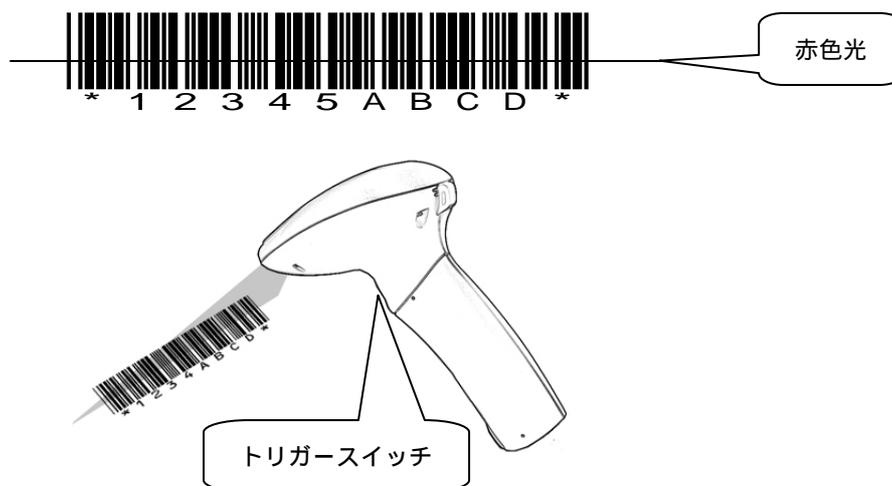
### [バーコードの読み取り方(スキャナの操作)]

- ( 1 ) スキャナのトリガースイッチ(黄色部)を押します。
- ( 2 ) 赤色光をバーコードに投光します。  
バーコードの左右から赤色光がはみでるように投光します(例図を参照)。
- ( 3 ) バーコードを読み取ると、読み取り確認ブザーが鳴り、データがコンピュータに出力  
されます。

### [例図 1]

バーコード規格 : Code39

\* (アスタリスク) は Code39 のスタート・ストップキャラクタです。初期状態の設定では出  
力しません。



## 各種設定を行う

---

ご使用のアプリケーションソフトの仕様に合わせ、スキャナの出力、バーコード読み取り条件の設定を行います。

### 設定の概要

スキャナで「設定用バーコード」をスキャンすると、スキャナの機能が変更されます。設定はスキャナの不揮発性メモリに保存され、電源を切った後も保存されています。設定用バーコードは本書[設定用バーコードメニュー]の項目に記載されています。必要な項目を印刷してご使用下さい。

### 設定の手順

設定用バーコードをスキャンする順番は、下記[表：設定の手順]に示す通りです。

[表：設定の手順]

手順	内容
1	[設定開始]の設定用バーコードをスキャンする。
2	各設定項目をスキャンする。 項目によっては、付録の「16進数/10進数 設定用バーコード」から数値を選択し、値を設定します。
3	[設定終了]の設定用バーコードをスキャンする。

### 設定の例

(1) バーコードデータを出力した後に、TABを出力する。

順番	スキャンする設定用バーコード
1	[設定開始]
2	項目[レコード・サフィックス(終端キー)]-[TAB]
3	[設定終了]

(2) Code39の「最短の読取桁数」を2桁に設定する。

順番	スキャンする設定用バーコード
1	[設定開始]
2	項目[Code39]-[最短の読取桁数]
3	付録2[16進数/10進数値 設定用バーコード]-[0]
4	付録2[16進数/10進数値 設定用バーコード]-[2]
5	項目[Code39]-[値を決定“FIN”]
6	[設定終了]

### 操作を開始する

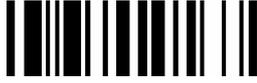
---

手順1～5が完了した後は、実際にバーコードデータを入力するアプリケーションソフトを起動し、運用を開始します。

## 設定用バーコード

### 1. [接続環境の設定]

記号は初期値です。

順番	内容	設定用バーコード	
1	インターフェースの設定	I/F	製品に合わせて <b>どちらかを選択</b> します
	USB キーボードインターフェース “ USB Keyboard Interface Quick Set Command ”  <b>クレードルに接続するケーブルが 「USB キーボードインターフェース」</b>	USB	
	PS/2 キーボードインターフェース “ PC/AT, Keyboard Wedge Quick Set Command ”  <b>クレードルに接続するケーブルが 「PS/2 キーボードインターフェース」</b>	KB	
2	設定開始 “ PROGRAM ”		
3	キーボードレイアウト “ Keyboard Layout ”		
4	値設定 日本語キーボード( 値 : 16 ) に設定します。  初期値 : 00 ( USA キーボード )	値	1, 6 の順で読み取ります
		1	
		6	
5	設定終了 “ END ”		

### 2. [初期化]

内容	設定用バーコード
<p>すべての設定の値を工場出荷時の状態に設定し、初期化します。 初期値はマニュアルの 記号の値です。 設定がわからなくなってしまう場合やスキャナがうまく動作しなくなった場合は、初期化を実行し、再び「接続環境の設定」を実行してください。</p> <p>[備考] インターフェースが PS/2 になり、キーボードレイアウトが USA に設定されます。</p>	

### 3. [動作の設定]

アルファベット大文字/小文字 出力の設定 “Upper/Lower Case”

記号は初期値です。

順番	内容	設定用バーコード	
1	設定開始 “PROGRAM”		
2	アルファベット大文字/小文字 出力 “Upper/Lower Case”		
3	項目を1つ選択	値	選択します
	設定無し	0	
	反転して出力	1	
	全て大文字で出力	2	
	全て小文字で出力	3	
4	設定終了 “END”		

「大文字/小文字」は、コンピュータのキーボードが小文字入力の状態を基準として表示しています。

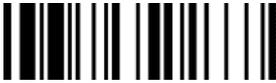
ブザーの設定 “ Buzzer Tone Adjust ”

記号は初期値です。

順番	内容	設定用バーコード	
1	設定開始 “ PROGRAM ”		
2	読み取り確認ブザーの設定		
3	読み取り確認ブザー	値	選択します
	鳴らさない	0	
	鳴らす 音の種類 1	1	
	鳴らす 音の種類 2	2	
	鳴らす 音の種類 3	3	
	鳴らす 音の種類 4	4	
	ブザーのタイミング	値	選択します
	読み取りデータを出力する前に鳴らす	5	
	読み取りデータを出力した後に鳴らす	6	
	起動時のブザー	値	選択します
	鳴らす	7	
	鳴らさない	8	
4	設定終了 “ END ”		

一致回数 “Redundancy”

記号は初期値です。

順番	内容	設定用バーコード	
1	設定開始 “PROGRAM”		
2	一致回数		
3	読み取り確認ブザー	値	選択します
	1回	1	
	2回	2	
	3回	3	
	4回	4	
	5回	5	
4	設定終了 “END”		

スキャナ内部の処理回数です。

回数を多くすると出力データの信頼性は向上しますが、品質の低いバーコードの読み取り率は低下します。

MBC-6890 はバーコードを 1 秒間に 300 回走査しています。トリガーを 1 回押したつもりでも、スキャナは何度も読み取り走査を実行しています。

そのうち、設定した回数分の一致したデータがあるとデータを出力します。

#### 4. [出力データの編集]

FBC-6870 シリーズはスキャンしたバーコードデータの前後に様々な付加データを出力することができます。これらの付加データは設定によって変更できます。

初期状態では、「レコードサフィックス(終端キー)」の「ENTER」のみが出力されるように設定されています。

##### データを出力する順番

プレアンブル(前置文字)、ポストアンブル(後置文字)、シンボル ID、データ長、レコードサフィックスの出力順を下記の「データ出力順の表」に示します。

データ出力順の表

(左側が先頭)

設定項目	出力データ						
	プレアンブル (前置文字)	データ長	シンボル ID	バーコード データ	シンボル ID	ポストアンブル (後置文字)	レコード サフィックス (終端キー)
桁数	0-15	2-3	1(2)*	-	1(2)*	0-15	1

\*コード識別子

出力する位置はバーコードデータの前か後、または両方です。

UPC-E と EAN-8 のコード識別子については、設定できる桁数は2桁です

プリアンブル（前置文字）を設定する “ Preamble ”

記号は初期値です。

順番	内容	設定用バーコード
1	設定開始 “ PROGRAM ”	
2	プリアンブル設定	
3	値設定	値   <u>付録 2</u> [16 進数値 設定用バーコード]を使用
	初期値：無し(Null) (0x00) 値設定範囲：00-7F / 16 進数値(Ascii)  <u>付録 1</u> [アスキーコード表]を参照し、 <u>付録 2</u> [16 進数値 設定用バーコード]から 2桁の値（00-7F）を設定します。  15桁分のキャラクターを設定できます。  “00-1F”は特定のキーに変換して出力し ます。変換内容については <u>付録 1</u> [アスキーコード表]を参照してく ださい。	00   7F  [例 1] “A”を設定する場合は“4,1”の順番で読み取 ります。  [例 2] “ABC”を設定する場合は“4,1,4,2,4,3”の順 番で値設定バーコードをスキャンします。
4	値を決定する “ FIN ”	
5	設定終了 “ END ”	

プリアンブル（前置文字）を消去する

記号は初期値です。

順番	内容	設定用バーコード
1	設定開始 “ PROGRAM ”	
2	プリアンブル設定	
3	値を決定する “ FIN ”  値を設定しないままで “ FIN ” をスキャン することでプリアンブルは消去されます。	
4	設定終了 “ END ”	

ポストアンブル（後置文字）を設定する “ Postamble ”

記号は初期値です。

順番	内容	設定用バーコード
1	設定開始 “ PROGRAM ”	
2	ポストアンブル設定	
3	<p>値設定</p> <p>初期値：無し(Null) (0x00) 値設定範囲：00-7F / 16進数値(Ascii)</p> <p>付録1[アスキーコード表]を参照し、 付録2[16進数値 設定用バーコード]から 2桁の値(00-7F)を設定します。</p> <p>15桁分のキャラクターを設定できます。</p> <p>“00-1F”は特定のキーに変換して出力し ます。変換内容については 付録1[アスキーコード表]を参照してく ださい。</p>	<p>値</p> <p>付録2[16進数値 設定用バーコード]を使 用</p> <p>00   7F</p> <p>[例1] “A”を設定する場合は“4,1”の順番で読み取 ります。</p> <p>[例2] “ABC”を設定する場合は“4,1,4,2,4,3”の順 番で値設定バーコードをスキャンします。</p>
4	値を決定する “ FIN ”	
5	設定終了 “ END ”	

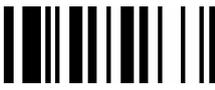
ポストアンブル（後置文字）を消去する

記号は初期値です。

順番	内容	設定用バーコード
1	設定開始 “ PROGRAM ”	
2	ポストアンブル設定	
3	<p>値を決定する “ FIN ”</p> <p>値を設定しないままで “ FIN ” をスキャン することでポストアンブルは消去されます。</p>	
4	設定終了 “ END ”	

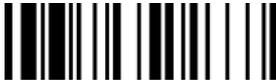
データ長出力 “Data Length Transmission”

記号は初期値です。

順番	内容	設定用バーコード	
1	設定開始 “PROGRAM”		
2	データ長出力		
3	項目を1つ選択 出力しない	値 0	選択します 
	出力する	1	
4	設定終了 “END”		

スキャンしたバーコードの桁数を2桁の数字で出力します。100桁以上の場合は3桁の数字です。

フォーマッター コントロール (Formatter Control) (挿入設定)

内容	設定用バーコード
設定開始 “PROGRAM”	
フォーマッター コントロール Formatter Control	
挿入 1箇所目 1 <sup>st</sup> Insertion	
挿入 2箇所目 2 <sup>nd</sup> Insertion	
挿入 3箇所目 3 <sup>rd</sup> Insertion	
挿入 4箇所目 4 <sup>th</sup> Insertion	
値を決定 “FIN”	
設定終了 “END”	

## 「フォーマッター コントロール」の説明

### 1. 設定の内容

バーコードデータの中に、任意のデータを挿入する設定です。

挿入位置は4箇所まで設定できます。

それぞれの挿入位置にキャラクタを1キャラクタから3キャラクタまで設定できます。

### 2. 設定の手順

#### A 設定する

(1)対象となるバーコード規格を選択します。

設定用バーコードを読み取る順番

順番	設定用バーコード	備考
1	設定開始	
2	フォーマッター コントロール	
3	数値(2桁) 値：01～13	バーコード規格を2桁の数値で設定します 付録2[10進数値 設定用バーコード]を使用 Code 128：01                      Code 39：07 UPC-A：02                         Code 25 Family：08 UPC-E：03                         Code 93：09 EAN/JAN-13：04                   Code 11：10 EAN/JAN-8：05                    MSI/Plessey：11 Codabar/NW-7：06                UK/Plessey：12 Telepen：13
4	設定終了	

(2)挿入する位置とキャラクタを指定します。

設定用バーコードを読み取る順番

順番	設定用バーコード	備考
1	設定開始	
2	挿入 n 箇所目	n=1～4
3	数値(2桁) 値：00～99(10進数)	位置を2桁の数値で設定します 付録2[10進数値 設定用バーコード]を使用
4	数値(2桁) 値：00～7F(16進数)	キャラクタ1個目 付録2[16進数値 設定用バーコード]を使用
	数値(2桁) 値：00～7F(16進数)	キャラクタ2個目 付録2[16進数値 設定用バーコード]を使用
	数値(2桁) 値：00～7F(16進数)	キャラクタ3個目 付録2[16進数値 設定用バーコード]を使用
5	設定終了	

#### B 設定を取り消す

設定用バーコードを読み取る順番

順番	設定用バーコード	備考
1	設定開始	
2	フォーマッター コントロール	
3	FIN	
4	設定終了	

### 3.挿入位置の指定

挿入するキャラクタの位置を指定します。

“00”～“99”の値(10進数値)を設定します。付録2のバーコードを読み取って設定します。

#### (1) 挿入位置の値の求め方

バーコードデータの1桁目の直前を“00”とし、1データごとに2桁の10進数で値を加算します。

例：バーコードデータがXXXXX(5桁)のとき

00	X	01	X	02	X	03	X	04	X	05
----	---	----	---	----	---	----	---	----	---	----

### 4.キャラクタの指定

挿入するキャラクタを指定します。

“01”～“1F”の値(16進数値)を設定します。付録2のバーコードを読み取って設定します。

#### (1) キャラクタの値の求め方

付録1のアスキーコード表を参照してください。

#### (2) 設定できるキャラクタの数と設定方法

挿入位置1箇所につき3キャラクタまで設定できます。

キャラクタを複数設定するときは、連続して値を設定します。

例：バーコードデータがXXのとき

1chara	2chara	3chara	X	1chara	2chara	3chara	X	1chara	2chara	3chara
--------	--------	--------	---	--------	--------	--------	---	--------	--------	--------

### 5.設定の例

Code39 バーコードデータ：12345678901234567890



設定	出力データ
デフォルト(初期設定)	12345678901234567890
フォーマッター コントロールによる設定	12345[ <u>TAB</u> ]AB67890[ <u>TAB</u> ]12345[ <u>CTRL(Left)</u> ]f67890 下線部が挿入するキャラクタです。

#### 設定の手順

[1]設定開始 フォーマッター コントロール 0 7 設定終了

[2]設定開始 挿入1箇所目 0 5 0 9 4 1 4 2 設定終了

05=位置、09=TAB、41=A、42=B

[3]設定開始 挿入2箇所目 1 0 0 9 設定終了

10=位置、09=TAB

[4]設定開始 挿入3箇所目 1 5 0 1 6 6 設定終了

15=位置、01=Ctrl(Left)、66=f

シンボル ID (コード ID) 出力 “Symbology ID Transmission”

記号は初期値です。

順番	内容	設定用バーコード	
1	設定開始 “PROGRAM”		
2	項目を 1 つ選択	値	選択します
	出力しない	0	
	データの前に出力する	1	
	データの後に出力する	2	
	データの前と後の両方に出力する	3	
3	設定終了 “END”		

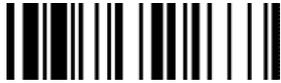
シンボル ID (バーコード識別子) “Symbol ID” の設定 (1)

記号は初期値です。

順番	内容	設定用バーコード	
1	設定開始 “PROGRAM”		
2	シンボル ID (コード ID) “Symbol ID:1 character”		
3	バーコードの種類と値を設定	値	値を選択
<p><b>Code128</b></p> <p>初期値 : B (0x42) 値設定範囲 : 00-7F / 16進数値(Ascii)</p> <p>値「00」で Code128 を指定。 次に付録 1[アスキーコード表]を参照し、 付録 2[16進数値 設定用バーコード]から 2桁の値(00-7F)を設定します。</p> <p>1桁分を設定します。</p>	0		
	0		
	00	付録 2[16進数値 設定用バーコード]を使用	
		[例] “K” を設定する場合 “4,B”	
7F			
<p><b>UPC-A</b></p> <p>初期値 : A (0x41) 値設定範囲 : 00-7F / 16進数値(Ascii)</p> <p>値「02」で UPC-A を指定。 次に付録 1[アスキーコード表]を参照し、 付録 2[16進数値 設定用バーコード]から 2桁の値(00-7F)を設定します。</p> <p>1桁分を設定します。</p>	0		
	2		
	00	付録 2[16進数値 設定用バーコード]を使用	
		[例] “@” を設定する場合 “4,0”	
7F			
<p><b>EAN-13, JAN-13</b></p> <p>初期値 : F (0x46) 値設定範囲 : 00-7F / 16進数値(Ascii)</p> <p>値「03」で EAN-13, JAN-13 を指定。 次に付録 1[アスキーコード表]を参照し、 付録 2[16進数値 設定用バーコード]から 2桁の値(00-7F)を設定します。</p> <p>1桁分を設定します。</p>	0		
	3		
	00	付録 2[16進数値 設定用バーコード]を使用	
		[例] “!” を設定する場合 “2,1”	
7F			
4	設定終了 “END”		

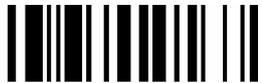
シンボル ID (バーコード識別子) “Symbol ID” の設定 (2)

記号は初期値です。

順番	内容	設定用バーコード	
1	設定開始 “PROGRAM”		
2	シンボル ID (コード ID) “Symbol ID:1 character”		
3	バーコードの種類と値を設定	値	値を選択
<p><b>Codabar, NW-7</b></p> <p>初期値：D (0×44) 値設定範囲：00-7F / 16進数値(Ascii)</p> <p>値「04」で Codabar, NW-7 を指定。 次に付録 1 [アスキーコード表] を参照し、 付録 2 [16進数値 設定用バーコード] から 2桁の値 (00-7F) を設定します。</p> <p>1桁分を設定します。</p>	0		
	4		
	00	付録 2 [16進数値 設定用バーコード] を使 用	
	7F	[例] “N” を設定する場合 “4,E”	
<p><b>Code39</b></p> <p>初期値：G (0×47) 値設定範囲：00-7F / 16進数値(Ascii)</p> <p>値「05」で Code39 を指定。 次に付録 1 [アスキーコード表] を参照し、 付録 2 [16進数値 設定用バーコード] から 2桁の値 (00-7F) を設定します。</p> <p>1桁分を設定します。</p>	0		
	5		
	00	付録 2 [16進数値 設定用バーコード] を使 用	
	7F	[例] “M” を設定する場合 “4,D”	
<p><b>Interleaved 2 of 5</b></p> <p>初期値：J (0×4A) 値設定範囲：00-7F / 16進数値(Ascii)</p> <p>値「08」で Interleaved 2 of 5 を指定。 次に付録 1 [アスキーコード表] を参照し、 付録 2 [16進数値 設定用バーコード] から 2桁の値 (00-7F) を設定します。</p> <p>1桁分を設定します。</p>	0		
	8		
	00	付録 2 [16進数値 設定用バーコード] を使 用	
	7F	[例] “I” を設定する場合 “4,9”	
4	設定終了 “END”		

シンボル ID (バーコード識別子) “Symbol ID” の設定 (3)

記号は初期値です。

順番	内容	設定用バーコード	
1	設定開始 “PROGRAM”		
2	シンボル ID (コード ID) 2桁の設定が必要なバーコード規格 “Symbol ID:2 character”  シンボル ID は初期状態で特定の文字が設定されています。任意の文字やキーに変更する場合に設定します。		
3	バーコードの種類と値を設定	値	値を選択
3	<b>UPC-E</b>  初期値：E0 (0x46,0x30) 値設定範囲：00-7F / 16進数値(Ascii)  値「00」で UPC-A を指定。 次に付録1[アスキーコード表]を参照し、 付録2[16進数値 設定用バーコード]から 2桁の値(00-7F)を設定します。  2桁分のキャラクターを設定します。	0	
		0	
		00	付録2[16進数値 設定用バーコード]を使用
		7F	[例] “UE” を設定する場合 “5,5,4,5”
3	<b>EAN-8, JAN-8</b>  初期値：FF (0x46,0x46) 値設定範囲：00-7F / 16進数値(Ascii)  値「01」で EAN-8, JAN-8 を指定。 次に付録1[アスキーコード表]を参照し、 付録2[16進数値 設定用バーコード]から 2桁の値(00-7F)を設定します。  2桁分を設定します 2	0	
		1	
		00	付録2[16進数値 設定用バーコード]を使用
		7F	[例] “FA” を設定する場合 “4,6,4,1”
4	値を決定 “FIN”		
5	設定終了 “END”		

レコードサフィックス（終端キー）の設定 “ Record Suffix ”

記号は初期値です。

順番	内容	設定用バーコード	
1	設定開始 “ PROGRAM ”		
2	レコードサフィックス “ Record Suffix ” データの終端に出力するキーの設定です。		
3	項目を1つ選択	値	選択します
	無し	0	
	ENTER	1	
	TAB	2	
	SPACE	3	
	テンキーパッド側 ENTER	4	
	任意のキー 値 “ 5 ” をスキャンした後に、16 進数値を設定します 値設定範囲：00-7F / 16 進数値(Ascii) <u>付録 1</u> [アスキーコード表]を参照し、 <u>付録 2</u> [16 進数値 設定用バーコード]から 2桁の値（00-7F）を設定します。  1桁分のキャラクターを設定できます。  “ 00-1F ” は特定のキーに変換して出力し ます。変換内容については <u>付録 1</u> [アスキーコード表]を参照してくだ さい。	5	 次に 16 進数値を設定します。
	00   7F	<u>付録 2</u> [16 進数値 設定用バーコード]を使 用  [例] “ ESC ” を設定する場合は “ 0,6 ” の順番で読 み取ります。	
4	設定終了 “ END ”		

## 5. [バーコードの読み取り条件]

### 読み取りバーコードの選択

記号は初期値です。

順番	内容	設定用バーコード
1	設定開始 “ PROGRAM ”	
2	読み取りバーコード規格の選択	
3	バーコードの種類と値を設定	値 付録 2 [10 進数値 設定用バーコード] を使用
	全てのバーコード規格を読み取る	00
	Code128	01
	UPC-A	02
	UPC-E	03
	EAN-13, JAN-13	04
	EAN-8, JAN-8	05
	Cordabar, NW-7	06
	Code39	07
	Interleaved 2of 5 (XXX2of5 は全て)	08
4	値を決定 “ FIN ”	
5	設定終了 “ END ”	

[例]

EAN-13, JAN-13 と Code39 の 2 種類のバーコード規格を読み取る場合

設定開始 読み取りバーコード規格の選択 アスキーコード表 “ 0,4,0,7 ” (4 つ) 値を設定

“ FIN ”

設定終了 “ END ”

バーコード規格ごとの読み取り条件設定

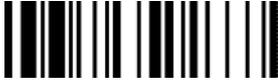
Code39 (1)

記号は初期値です。

順番	内容	設定用バーコード		
1	設定開始 “ PROGRAM ”			
2	Code39 読み取り条件 “ Code39 Family Setting ”			
3	出力フォーマット	値	選択します	
	Code39	1		
	Full Ascii Code39	2		
	スタート・ストップ ( * ) の出力	値	選択します	
	出力しない	3		
	出力する	4		
	チェックデジットの検査	値	選択します	
	検査しない	7		
	検査する	8		
	チェックデジットの算出方法はモジュラス 43			
	チェックデジットの出力	値	選択します	
	出力しない	9		
出力する	A			
4	設定終了 “ END ”			

## Code39 (2)

記号は初期値です。

順番	項目	設定用バーコード	
1	設定開始 “ PROGRAM ”		
2	Code39 最短の読取桁数		
3	値を設定 (10 進数値)	値	付録 2 [10 進数値 設定用バーコード] を使用
	初期値 : 04 値設定範囲 : 01-98 / 10 進数値 内容 : 桁数を指定します  初期状態では、4 桁以上のバーコードを読み取ります。	01   98	2 桁の値を [10 進数値 設定用バーコード] から選択して読み取ります。  [例] 3 桁を設定する場合は “ 0,3 ” の順番で読み取ります。
4	値を決定 “ FIN ”		
5	設定終了 “ END ”		

記号は初期値です。

順番	項目	設定用バーコード	
1	設定開始 “ PROGRAM ”		
2	Code39 最長の読取桁数		
3	値を設定	値	付録 2 [10 進数値 設定用バーコード] を使用
	初期値 : 98 値設定範囲 : 01-98 / 10 進数値 内容 : 桁数を指定します  初期状態では、98 桁以下のバーコードを読み取ります。	01   98	2 桁の値を [10 進数値 設定用バーコード] から選択して読み取ります。  [例] 20 桁を設定する場合は “ 2,0 ” の順番で読み取ります。
4	値を決定 “ FIN ”		
5	設定終了 “ END ”		

## Codabar, NW-7 (1)

記号は初期値です。

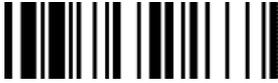
順番	内容	設定用バーコード	
1	設定開始 “ PROGRAM ”		
2	Codabar, NW-7 読み取り条件 “ Codabar, NW-7 Family Setting ”		
3	スタート・ストップの出力フォーマット	値	選択します
	スタート・ストップを出力しない	4	
	ABCD/ABCD を出力する スタート・ストップは A, B, C, D のいずれか。	5	
	abcd/abcd を出力する	6	
	ABCD/TN*E を出力する	7	
	abcd/tn*e を出力する	8	
	チェックデジットの検査	値	選択します
	検査しない	9	
	検査する チェックデジットの算出方法はモジュラス 16	A	
	チェックデジットの出力	値	選択します
出力しない	B		
出力する	C		
4	設定終了 “ END ”		

Codabar ,NW-7 (2)

記号は初期値です。

順番	項目	設定用バーコード	
1	設定開始 “ PROGRAM ”		
2	Codabar ,NW-7 最短の読取桁数		
3	値を設定 ( 10 進数値 )	値	付録 2[10 進数値 設定用バーコード]を使用
	初期値 : 04 値設定範囲 : 01-98 / 10 進数値 内容 : 桁数を指定します  初期状態では、4 桁以上のバーコードを読み取ります。	01   98	2 桁の値を [10 進数値 設定用バーコード] から選択して読み取ります。  [例] 3 桁を設定する場合は “ 0,3 ” の順番で読み取ります。
4	値を決定 “ FIN ”		
5	設定終了 “ END ”		

記号は初期値です。

順番	項目	設定用バーコード	
1	設定開始 “ PROGRAM ”		
2	Codabar ,NW-7 最長の読取桁数		
3	値を設定 ( 10 進数値 )	値	付録 2[10 進数値 設定用バーコード]を使用
	初期値 : 98 値設定範囲 : 01-98 / 10 進数値 内容 : 桁数を指定します  初期状態では、98 桁以下のバーコードを読み取ります。	01   98	2 桁の値を [10 進数値 設定用バーコード] から選択して読み取ります。  [例] 20 桁を設定する場合は “ 2,0 ” の順番で読み取ります。
4	値を決定 “ FIN ”		
5	設定終了 “ END ”		

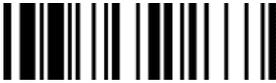
UPC-A ,UPC-E(1)

記号は初期値です。

順番	内容	設定用バーコード	
1	設定開始 “ PROGRAM ”		
2	UPC-A,UPC-E 読み取り条件 “ UPC Family Setting ”		
3	アドオン	値	選択します
	アドオンコード無しで読み取る	0	
	2桁のアドオンコードを読み取る	1	
	5桁のアドオンコードを読み取る	2	
	2桁および5桁のアドオンコードを読み取る	3	
	UPC-E 拡張		選択します
	UPC-E を拡張しない	4	
	UPC-E を UPC-A に拡張する	5	
	“ 0 ” を挿入し 12 桁で出力します。		
	UPC-A の桁数調整		選択します
	UPC-A の桁数を調整しない	6	
	12 桁のまま出力します	7	
	UPC-A の桁数を調整する		
	先頭に “ 0 ” を付加し 13 桁で出力します		
UPC のナンバーシステムキャラクタ		選択します	
出力しない	8		
先頭の 1 桁を出力しません	9		
出力する			
先頭の 1 桁を出力しません			
4	設定終了 “ END ”		

UPC-A ,UPC-E(2)

記号は初期値です。

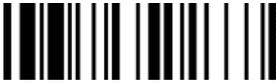
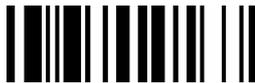
順番	内容	設定用バーコード	
1	設定開始 “ PROGRAM ”		
2	UPC-A,UPC-E 読み取り条件 “ UPC Family Setting ”		
3	UPC-A のチェックデジット	値	選択します
	出力しない	A	
	出力する	B	
	UPC-E のチェックデジット		選択します
	出力しない	C	
	出力する	D	
4	設定終了 “ END ”		

EAN, JAN

記号は初期値です。

順番	内容	設定用バーコード	
1	設定開始 “ PROGRAM ”		
2	EAN, JAN 読み取り条件 “ EAN/JAN Family Setting ”		
3	アドオン	値	選択します
	アドオンコード無しで読み取る	0	
	2桁のアドオンコードを読み取る	1	
	5桁のアドオンコードを読み取る	2	
	2桁および5桁のアドオンコードを読み取る	3	
	EAN-8, EAN-8 拡張		選択します
	EAN-8, JAN-8 を拡張しない	4	
	EAN-8, JAN-8 を拡張する	5	
	“ 0 ” を挿入し 13 桁で出力します。		
	EAN-13, JAN-13 のチェックデジット		選択します
	出力しない	6	
	出力する	7	
	EAN-8, JAN-8 のチェックデジット		選択します
	出力しない	8	
	出力する	9	
	ISBN/ISSN 変換		選択します
変換しない	A		
変換する	B		
978 で始まる JAN を ISBN(10 桁)に変換			
4	設定終了 “ END ”		

記号は初期値です。

順番	内容	設定用バーコード	
1	設定開始 “ PROGRAM ”		
2	チェックデジットの検査	値	選択します
	検査しない	7	
	検査する	8	
	算出方式はモジュラス 10 ウェイト 3		
	チェックデジットの出力		選択します
	出力しない	9	
出力する	A		
3	設定終了 “ END ”		

Interleaved 2 of 5 (2)

記号は初期値です。

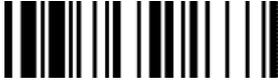
順番	項目	設定用バーコード	
1	設定開始 “ PROGRAM ”		
2	Interleaved 2 of 5 最短の読取桁数		
3	値を設定 (10進数値)	値	付録2[10進数値 設定用バーコード]を使用
	初期値 : 06 値設定範囲 : 02-98 / 10進数値 内容 : 桁数を指定します。  初期状態では、6桁以上のバーコードを読み取ります。	02   98	2桁の値を[10進数値 設定用バーコード]から選択して読み取ります。  [例] 4桁を設定する場合は“0,4”の順番で読み取ります。
4	値を決定 “ FIN ”		
5	設定終了 “ END ”		

記号は初期値です。

順番	項目	設定用バーコード	
1	設定開始 “ PROGRAM ”		
2	Interleaved 2 of 5 最長の読取桁数		
3	値を設定	値	付録2[10進数値 設定用バーコード]を使用
	初期値 : 98 値設定範囲 : 02-98 / 10進数値 内容 : 桁数を指定します。  初期状態では、98桁以下のバーコードを読み取ります。	02   98	2桁の値を[10進数値 設定用バーコード]から選択して読み取ります。  [例] 20桁を設定する場合は“2,0”の順番で読み取ります。
4	値を決定 “ FIN ”		
5	設定終了 “ END ”		

## Code128

記号は初期値です。

順番	項目	設定用バーコード	
1	設定開始 “ PROGRAM ”		
2	Code128 最短の読取桁数		
3	値を設定	値	付録 2[10 進数値 設定用バーコード]を使用
	初期値：04 値設定範囲：01-98 / 10 進数値 内容：桁数を指定します。  初期状態では、4 桁以上のバーコードを読み取ります。	02   98	2 桁の値を[10 進数値 設定用バーコード]から選択して読み取ります。  [例] 4 桁を設定する場合は“0,4”の順番で読み取ります。
4	値を決定 “ FIN ”		
5	設定終了 “ END ”		

記号は初期値です。

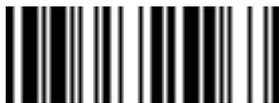
順番	項目	設定用バーコード	
1	設定開始 “ PROGRAM ”		
2	Code128 最長の読取桁数		
3	値を設定	値	付録 2[10 進数値 設定用バーコード]を使用
	初期値：98 値設定範囲：01-98 / 10 進数値 内容：桁数を指定します。  初期状態では、98 桁以下のバーコードを読み取ります。	02   98	2 桁の値を[10 進数値 設定用バーコード]から選択して読み取ります。  [例] 20 桁を設定する場合は“2,0”の順番で読み取ります。
4	値を決定 “ FIN ”		
5	設定終了 “ END ”		

## システムコマンドメニュー

### ホストインターフェース の設定



PC/AT,PS/2 Keyboard Wedge  
Quick Set Command  
PS/2キーボードインターフェース  
(MBC-6890-LR-C2-KB)



Keyboard Replacement  
Quick Set Command  
PS/2キーボードインターフェース  
ノートPC(メス未使用時)  
(MBC-6890-LR-C2-KB)



USB Keyboard Interface  
Quick Set Command  
USBキーボードインターフェース  
(MBC-6890-LR-C2-USB)

### 無線通信の設定



Uninstall  
アンインストール



Pair Mode  
ペアモード



Paging Command  
クレードルを検索(ページング)



Sleep Command  
スリープ状態にする



Radio Off  
無線通信切断

## 付録1

### アスキーコード表 “Ascii Code Table”

L \ H	0		1		0	1	2	3	4	5	6	7
	0	1	0	1	0	1	2	3	4	5	6	7
0	なし	F7	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p		
1	CTRL(Left)	F8	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q		
2	ALT(Left)	F9	STX	DC2	“	2	B	R	b	r		
3	SHIFT	F10	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s		
4	CAPS LOCK	CTRL(Right)	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t		
5	NUM LOCK	ALT(Right)	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u		
6	ESC	なし	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v		
7	F1	なし	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w		
8	+(テンキー)	なし	BS	CAN	(	8	H	X	h	x		
9	TAB	なし	HT	EM	)	9	I	Y	i	y		
A	F2	なし	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z		
B	F3	なし	VT	ESC	+	;	K	[	k	{		
C	F4	なし	FF	FS	,	<	L	¥	l			
D	ENTER	なし	CR	GS	-	=	M	]	m	}		
E	F5	なし	SO	RS	.	>	N	^	n	~		
F	F6	なし	SI	US	/	?	O	_	o	DEL		

ファンクションキー変換

アスキーコード表について

[見方]

- ・H=High 16進数上位
- ・L=Low 16進数下位

[文字について]

- ・“0x5C”はISO規格では“バックスラッシュ”ですが日本語環境ではANKに基づく“¥”(円記号)になります。
- ・“0x7E”はISO規格では“オーバーライン”ですが日本語Windows環境では“~(チルダ)”が表示されます。
- ・USBキーボードインターフェースは未対応の特殊文字があります。

[表1-特殊文字対応状況]

型式	USB接続	PS/2キーボード接続
対応状況	一部の特殊文字に未対応	全ての特殊文字に対応済み

[表2-未対応に該当する特殊文字]

“0x5F”の _ (アンダースコア) “0x7C”の   (縦棒) “0x7E”の ~ (チルダ)
--

[網掛け部分について]

・「ファンクションキー変換」の設定が「変換する」に設定されているときに適用される内容です。

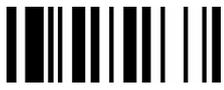
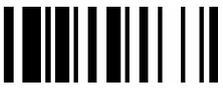
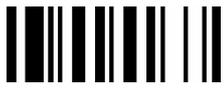
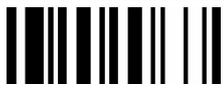
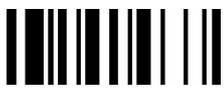
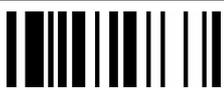
初期状態では「変換する」に設定されています。(英文ユーザーズガイド P31 “Function Key Emulation”) 英文説明書に表記された0x16-01Fは出力できません。

付録2

16進 / 10進数値 設定用バーコード

値設定に使用する設定用バーコード

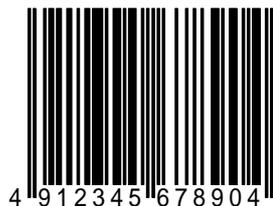
16進 / 10進数値 値設定の設定項目で、アスキー値および10進数の値を設定します。

0		8	
1		9	
2		A	
3		B	
4		C	
5		D	
6		E	
7		F	

### 付録3

テスト用バーコード 動作確認などにご使用ください。

JAN-13



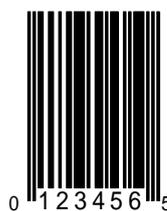
JAN-8



UPC-A



UPC-E



Interleaved2of5



NW-7(Codabar)



Code39



Code128

